

生成AIがDX推進人材のスキルに与える影響について

株式会社THE GUILD, 深津貴之

デザイナー

=

「場のカオスを最小化する仕組み」を作る人



デザインされていない状態（カオス）

把握できない
予測できない
制御できない



デザインされた状態

把握できる
予測できる
制御できる

場のカオスを最小化するとは？

現状を把握できる

視野・視座・視点
情報のモデル化
情報の可視化
情報の構造化

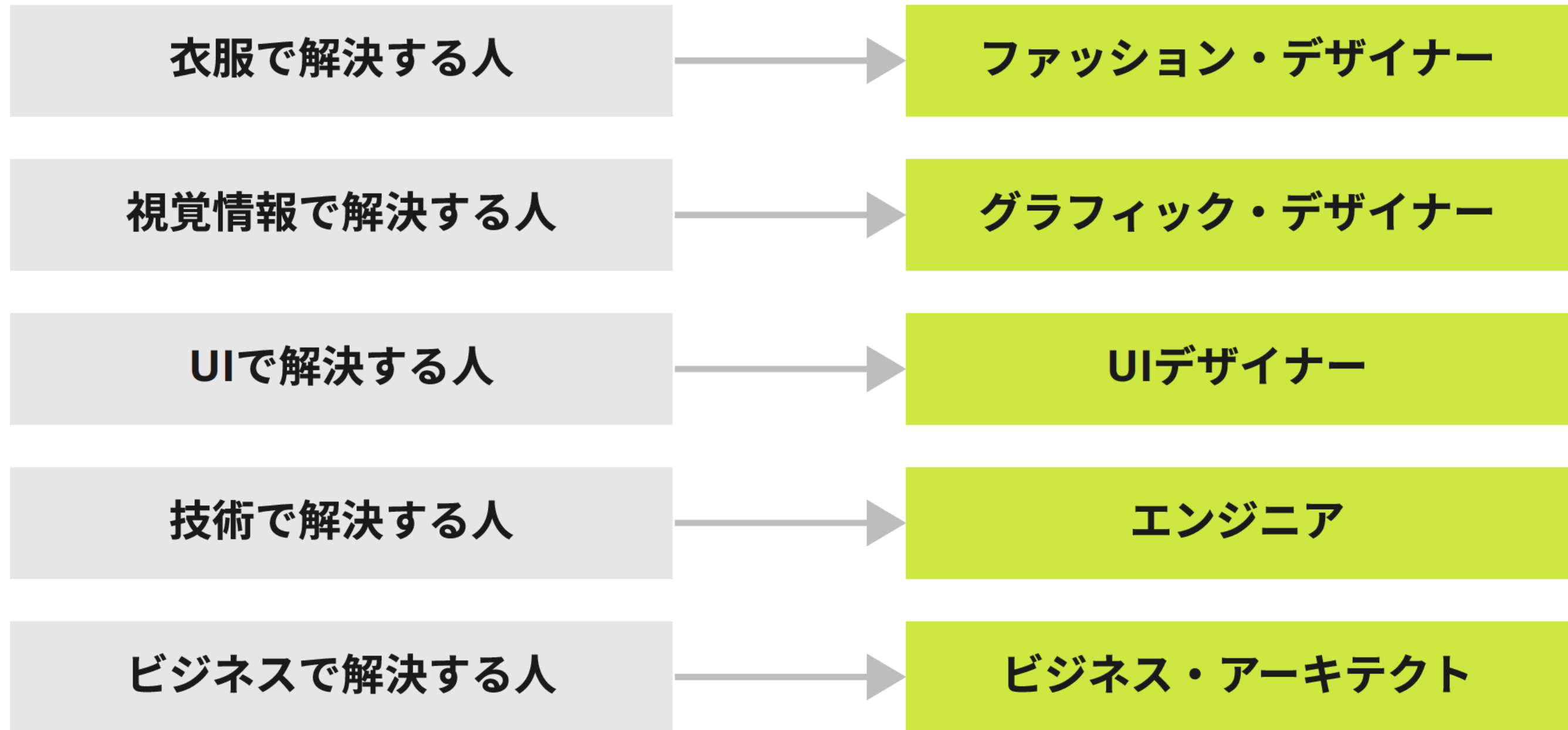
将来を予測できる

再現性の付与
汎用性の付与

状況を制御できる

反脆弱性
コスト・マネジメント
リスク・マネジメント

どうカオスを最小化するか？



Q: 生成AIは、DX人材にどのような影響を与えるか？

問の汎化

Q: 生成AIは、DX人材にどのような影響を与えるか？



Q: 生成AIは、どのように社会のカオスを複雑化するか？



Q: 高エントロピー環境下で、人はどう振る舞うべきか？

問の汎化

どのモデルが勝つか？
次にくるトレンドは？
どういう組織体制がよいか？
どういう技術がのこるか？



高速・高頻度でルールが変化
する環境で、生存性や再現性の
高い立ち回りはなにか？

把握可能、予測不能、制御不能

把握可能、予測可能、制御可能

生成AI = カオス環境

変化スピード
UP

変化の頻度
UP

変化の規模
UP

カオス・高エントロピー環境での立ち振舞い

反脆弱性の確保

行動スピードを高める

フィードバックサイクルの短縮

疎結合化

リスクヘッジをした投機的対応

リスクの分散

変化しない部分への投資

二番手戦略をとる

巨人の肩にのる

反脆弱性の確保

あらゆる仕組みや構造は、高確率で破壊される前提を持つ



なにかが壊れても、機能不全にならないような
組織構成ビジネスモデル設計、キャリア形成を行う

行動スピードを高める

あらゆるルールの変化速度は、ますます高速化する。



システムのボトルネックを排除し、
意思決定のレイヤーを簡略化
即座に変化に対応できる体制をととのえる

フィードバックサイクルの短縮

あらゆるルールの変化速度は、ますます高速化する。



仮説検証の速度を高速化し、
結果観測が長期、高コストのアセット比率を減らす

疎結合化

モノリシックな組織構造や組織アセットは、
生成AIによるルール変化にたいして脆弱である



状況の変化に応じて、一箇所がダメになっても
その影響が組織やキャリア全体に及ばないようにする

リスクヘッジをした投機的対応

中長期の投資に対して、結果がでるまえに
ルールが変動するなど、成功・失敗のボラティリティが高まる



ポートフォリオ全体で一定割合が失敗することを織り込んで行動する。
ゼロリスク運用を行うのではなく、失敗・損切りを許容した
アセット構成や投資を行う。

リスクの分散

あらゆる分野において
破壊的イノベーションが発生する確率が高まる



組織・資産・キャリア等のアセットを
一箇所に集中させず分散させる

変化しない部分への投資

あらゆるフィールドが高速かつ高確率で変化し予測できない



変化の読めない環境下では、統計的なインデックス分散を行ったり、
メタ認知能力、脳の仕組み、物理法則といった
変動性の低い分野のアセットを増やす

二番手戦略をとる

何が正解かわからない



二番手ランナーになり、導入コストやリスクを圧縮しつつ
コストパフォーマンスの最適化を狙う

巨人の肩にのる

リスク変動幅が高い環境に、膨大な資本投入もを求められる



リスクとコストをビッグテックに押し付け
低コスト高レバレッジに特化をする

アセット分配の目安

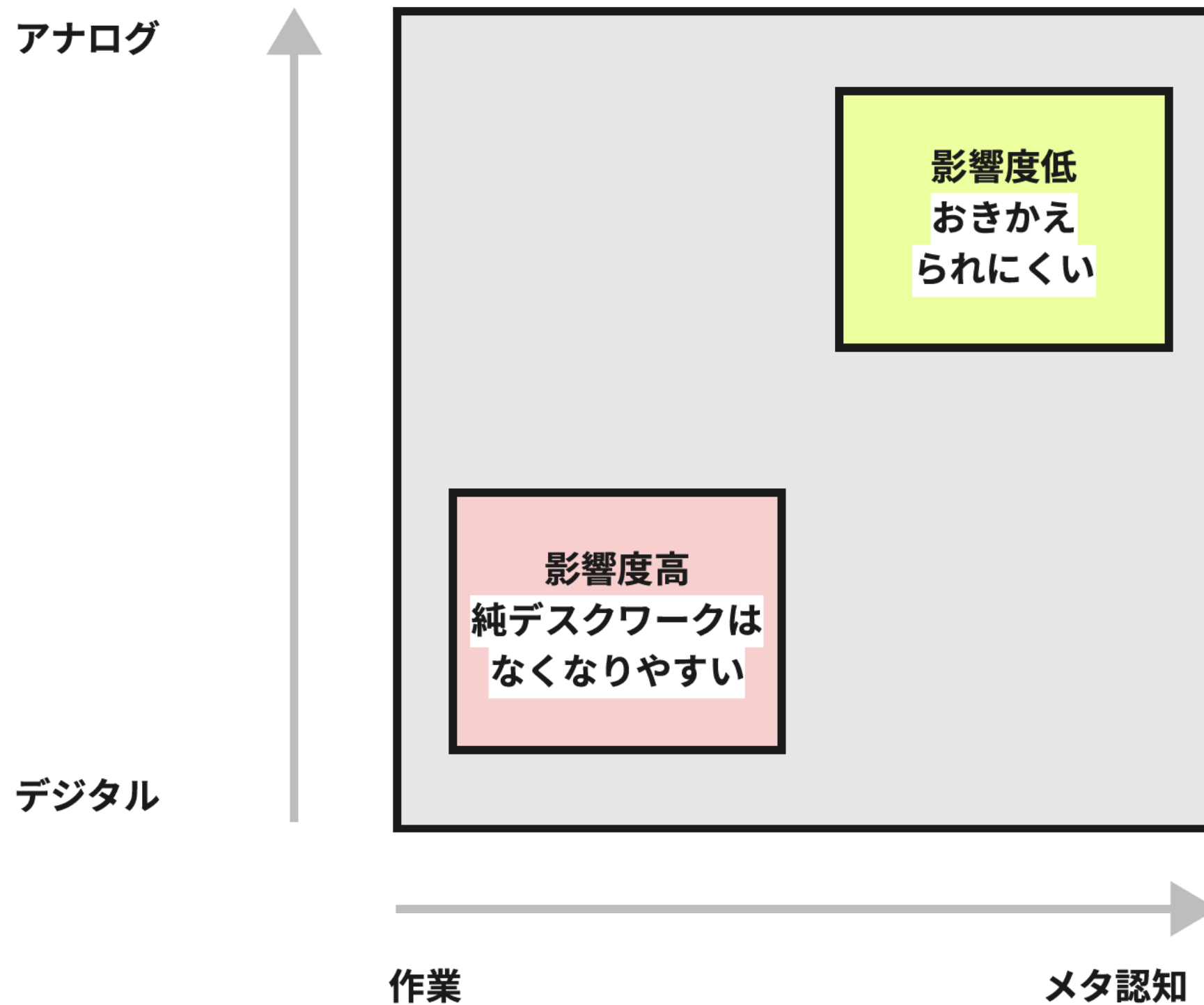
「純デスクワーク」
「習得に時間がかかる」
「トレンド変化が早い」
「労働集約的」
「大規模資本の一点投資」
「投資から回収に時間がかかる」
「フィードバックサイクルが重い」

投資比率を下げる

「横断的である」
「物理世界と非物理が交錯する」
「分散投資や平均回帰可能」
「メタ認知など汎化・抽象スキル」
「疎結合やカプセル化できる」
「1000年単位で変化しない」
「リスクを押し付けられる」

投資比率を高める

AIによるリプレイスメント



AIによるスキル習得リスク

AIによって、下積み期間をベースにした
メタ認知スキル、ナレッジ統合が難しくなる

下積みや反復作業で学んでいたメタ認知スキルを、 今後はどのように学ぶかが課題

評価する能力

選択する能力

経験の抽象化

等